

2019

11

November

No. 320

広報

みしま

みんなで育てた稲の脱穀

三島小 田んぼの学校 (6ページに関連記事)





通常点検の様子

災害に対する備えを再確認 町消防団秋季検閲式

町消防団秋季検閲式は10月20日、雨天のため生涯学習センター体育館で行われました。小島純団長は「団員諸君が元気はつらつとした優秀な成績をもって検閲式を終了できることを望みます」と訓示を述べました。25年、20年、15年の永年勤続者14名が表彰され、その後、通常点検、小隊訓練などを行いました。

また、いつ襲ってくるか分からない災害への備えを再確認するとともに、絶対に火災を起こさないことを誓いました。

行政相談員が啓発活動を実施

行政に関する要望は「行政相談」をご利用ください

10月19日、行政相談員の小松けい子さん（西方）が尾瀬街道みしま宿で広報活動を実施しました。ポスターを掲示し、みしま宿を訪れた方々に声をかけ、啓発用の記念品を手渡しました。行政相談は、役所（県や市町村）等の仕事に対して、苦情や困っていること、要望したいこと等について相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。町では毎月第3水曜日（午前10時～正午、午後1時～3時）に町民センターで行政相談所を開設していますので、お気軽にご利用ください。



啓発活動をする小松けい子さん（写真右）

インターンシップの受け入れを実施 川口高校生が役場の業務を体験

川口高校1年生による「職場体験学習」は10月1日から3日まで行われました。伊藤敏明くん（宮下）と青木信幸くん（荒屋敷）が全ての課の担当業務を体験し、町民課所管の健康づくり事業や産業建設課所管の森林整備が行われている現場の見学、特命担当課所管のホームページ用の写真撮影など、様々な業務を実際に体験しました。学校の授業とは異なる部分が多く、大変だったと思いますが、この体験を2人の将来に役立てていただければと思います。



健口教室に参加する伊藤敏明くん



広報用の写真撮影をする青木信幸くん

秋季ビーチバレーボール大会を開催 1部優勝はSix dieu 2部優勝はヒートブロウ



1部優勝のSix dieu



2部優勝のヒートブロウ

公民館主催の令和元年度秋季ビーチバレーボール大会は10月16日・17日の2日間にわたって開催され、年齢制限のある1部（5チーム参加）と制限のない2部（3チーム参加）に分かれ、それぞれ白熱した試合をみせました。今回の優勝チームは1部がSix dieu、2部がヒートブロウでした。来年度も開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。



多くの来場者で賑わった会場



山ブドウストラップ作り体験の様子



会津地方振興局長賞を受賞した舟木トメ子さん（間方）



◀舟木トメ子さんの「手提バッグ」

第15回会津の編み組工芸品展は10月19日・20日、交流センター山びこで開催されました。会津地方の88人から寄せられた637点を審査し、「手提バッグ」を出展した当町の舟木トメ子さん（間方）に、最高賞の福島県会津地方振興局長賞が贈られました。

初日は、午前9時30分の開場と同時に、人気の山ブドウバッグやマタタビ箆などを求める多くの来場者で賑わいました。また山ブドウのストラップやヒロロのコースター作りの体験コーナーも設けられ、自然素材による手作りの魅力を感じていました。

同日、生活工芸館において、東北各地よりものづくり出展者が集い「ものづくり再光展」も同時開催され、来場された方々は優れた技の品々を熱心に見入っていました。

第15回会津の編み組工芸品展受賞者名簿

賞	作品名	材質	作者	市町村
福島県会津地方振興局長賞	手提バッグ	ヒロロ	舟木トメ子	三島町
会津若松市長賞	手さげ	ヒロロ	大島やを子	会津若松市
喜多方市長賞	いもあらい	根曲竹	三星智善	喜多方市
北塩原村長賞	たすき格子のバスケット	アケビ	藤原勝栄	会津若松市
磐梯町長賞	手さげ	ヒロロ	板橋サガミ	三島町
会津坂下町長賞	婦人手提げバッグ	山ブドウ	須佐守	会津坂下町
湯川村長賞	つるかめ長	ワ	矢部晋也	会津若松市
柳津町長賞	はげ	マタタビ	岩淵清隆	柳津町
会津美里町長賞	手さげ籠	クルミ	馬場美智代	会津美里町
三島町長賞	大雨みの	ヒロロ	青木基重	三島町
金山町長賞	網代編みザル	マタタビ	栗城新五	金山町
昭和村長賞	手提げバッグ	ヒロロ	渡部好子	昭和村
南会津町長賞	特大ザル	根曲竹	武藤叡太郎	喜多方市
只見町長賞	花編み手提げバッグ	クルミ	吉津巧	只見町
三島町議会議長賞	あやざる	マタタビ	菅家哲夫	金山町
福島民報社賞	手さげかご	山ブドウ	板橋泰二郎	三島町
福島民友新聞社賞	ショルダーバッグ	ヒロロ	角田ツヤ子	三島町
奥会津三島編組品振興協議会長賞	米研箆	マタタビ	角田恵治	金山町
	手さげかご	山ブドウ	福田耕士	三島町
	猫ハウス	ワ	須田新也	会津若松市
	浅ザル	マタタビ	渡部博之	会津若松市

第15回会津の編み組工芸品展
舟木トメ子さんに会津地方振興局長賞
（主催：奥会津三島編組品振興協議会）

空き家コラム

確認しよう！
相続の仕組み

～前号に引き続き、相続・登記についてお伝えします。～

相続はしなくてはいけないの？

→相続は法律上では人が亡くなると自動的に始まるものですが、実際には各種の相続手続きが必要です。

相続できる人は？

→誰がどれだけ相続できるのかについては、民法という法律で定められています。民法で定められた相続人を「法定相続人」と呼び、誰がどれだけ相続するかは、法定相続人の確定と遺言の有無を確認する必要があります。

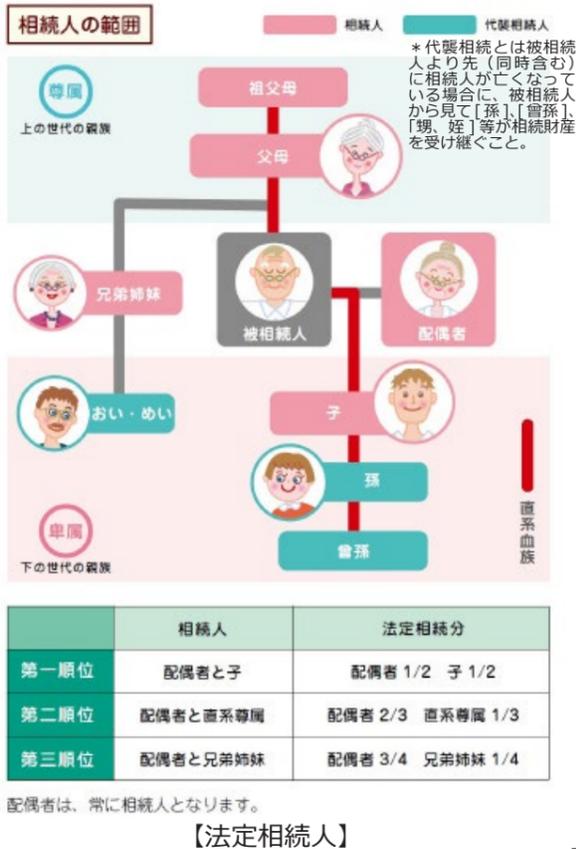
相続の種類

- ① 単純承認：通常の相続
- ② 限定承認：相続する財産がプラスかマイナスかわからない場合、または借金が多いと予想される場合（例）遺産が1億円、借金が1億2000万円だった場合、2000万円分については責任を負わなくてもいいという方法
- ③ 相続放棄：マイナス財産がはるかに多い場合、相続を放棄することができます。

*次号では、相続の流れについてお伝えします。

○空き家の相続・登記に関すること
福島地方務局若松支局 ☎0242(27) 1501
または、お近くの司法書士事務所

○空き家バンクに関すること
地域政策課地方創生推進係 ☎(48) 5533
お気軽にご相談ください。



移住者インタビュー

三島町には様々な想いを持って移住された方がたくさんいらっしゃいます。インタビューを通して、空き家の利活用や移住定住のきっかけ、三島町の新たな魅力発見につながればと思い、移住者インタビューを連載します。

その6 にし まみ
西 茉美さん(30歳)
宮下地区在住



『一歩ずつ憧れの暮らしへ』

2017年12月、結婚を機に三島町に移住されました。ご主人の恭平さん(30歳)と1歳7か月の息子さんの3人で、憧れの暮らしを少しずつ形にしていっています。

「三島町へ移住したいきさつ
私は宮城県仙台市の郊外、住宅街で育ちましたが、学生時代からの地域づくりの活動を通して、人とのつながりや、手しごとが身近にある暮らしに魅力を感じていました。大学では建築設計、大学院では地域づくりの研究室に在籍しました。卒業後は設計事務所勤務を経て、まちづくりに関わる仕事をしました。授業プログラムを考え、宮城県内や福島県内の地域で調査をしたり、学生や地域の方々ともまちづくりの活動をしました。様々な地域と関わっていくうちに、いつか自分も地域の人になりたい、地域で暮らしたいと考えるようになりました。

そんなときに三島町と出会い、てわっさのある暮らし、ゆったりした空気、風景の美しさを感じ、ここで暮らしてみたいなあと思われされました。そして何より、通うたびに三島町の皆さんの温かさに触れ、三島町のことがどんどん好きになり、結婚を機にこちらへ移ることを決めました。

—今の暮らしについて
今は子育てに奮闘中です。里帰り出産をして、昨年の4月に戻ってきましたが、近所の方々や先輩ママさんたちに見守られ、助けて

いただきながら過ごしています。日々、わいてくる子育ての悩みに相談にのっていただいたり、散歩をしている息子に声をかけていただいたり、どうしようもない時には、息子を見ていただくこともあります。たくさんの方にお世話になり、やさしさに囲まれながら暮らせているので、キリキリすることもなく、余裕を持って子育てできているように思います。また、我が家は核家族なので、息子にとつて、たくさんのおじいちゃんおばあちゃん、お兄さんお姉さんに囲まれている環境は本当にありがたいことだなあとしみじみ思っています。感謝の気持ちを持って、いずればはしていただいたように他の人を思いやる気持ちを息子も持ってくれるといいなと親としては思います。とにかく息子なりにこの環境から色々なことを感じ、学んでくれたらいいなと思っています。

家を出ると山が見え、自然がすぐ近くにあることも、とても恵まれた環境だと思っています。畑を借り野菜も育てています。自家製大豆のお味噌を作ったり、梅干しや梅シロップを作ったり、庭のベリーでジャムを作ったり、ベニシアさん(NHK「猫のしっぽ

カエルの手京都大原ベニシアの手づくり暮らし」が有名)のようにな手しごとのある暮らしが憧れでしたから、こういうことができる暮らしは楽しいです。また、昨年は「だんごさし」を自宅でもやってみました。自分たちが暮らしている土地の行事や習慣も大切にしたいと思っています。

—お住まいについて
宮下地区に通いながら、結婚前から近所の方々とお付き合いさせていただいていたので、宮下地区で住まいを探していました。設計は自分たちでもアイデアを出し合い、改修した家の一部は主人が自分で床を張替えたり、棚を作ったりしています。庭を二人で耕しているのですが、少しずつ整えていくのが楽しみでもあります。ご近所の皆さんや町外の友人たちなど、色々な方に遊びに来ていただけるような空間にしていきたいと思っています。

—これからについて
これからも日々の暮らしに感謝しながら、三島町の毎日を丁寧に楽しんでいきたいと思っています。息子がもう少し大きくなったら、味噌作りやお菓子作り、土いじりなどを一緒にできると思うので、それもまた楽しみです。

協力隊コーナー Vol. 7

うえむら あきえ
植村 明恵 (19歳)



こんにちは。協力隊の植村明恵です。早いもので着任してから半年が過ぎました。生活は随分落ち着き、地区の行事にも少しずつ顔を出させてもらっています。

仕事では第2弾の鉋の刃研ぎが始まりました。第1弾は鑿とお下がりいただいた鉋の研ぎでした。1日中立ちっぱなしの刃研ぎ。作業は中々思うように進まず、終わるまでに1ヶ月半もかかり、気がつけば手も心もボロボロになってしまいました。段々と気分が落ち、手を切っただけで涙が出そうになりましたが、それでも投げ出さずに最後まで続けることができたのは先輩方のおかげでした。研いだ刃物をチェックしていただきに行くと、「お！すごいなあ。スパッと切れそうぞぞ」。私のボロボロな手を見て、「職人の手だなあ。カッコいいなあ」。この言葉が本当に嬉しくて。家に帰ってから自分の手を見つめて、1人でニコニコしていたり、研ぎもより一層気合と熱意が入りました。こんなことでへこたれているようでは、まだまだだなあとと言われてしまいそうですが、1つずつ目の前の壁を越えていけたらと思っています。第2弾の刃研ぎのお話をしようと思いましたがつい語りすぎてしまいました。この続きはまたどこかでお話しさせてください。

最近の私のブームは散歩です。朝や夕方ふらふらと散歩をしている時に「よお、桐タンス(私のことです)寒いけど風邪引くなよ～」というお声掛け、とても嬉しいです。いつもありがとうございます。図々しいですがお声掛けいただくのを一つの楽しみに散歩をしているのはここだけの話です。



○高血圧症は脳心血管病（脳卒中および心疾患）の最大の原因となります。それらの発症や、死亡を減らすために今年高血圧の目標値が変更されました。（高血圧ガイドライン 2019）

家庭血圧でみる降圧目標

◆ 75 歳未満の成人
・糖尿病患者
・慢性腎臓病患者（尿蛋白陽性）
・抗血栓薬（血液サラサラの薬）服薬中
・脳血管障害患者（狭窄や閉塞なし）



収縮期 125 以下
拡張期 75 以下

◆ 75 歳以上の高齢者
・慢性腎臓病患者（尿蛋白陰性）
・脳血管障害患者（狭窄や閉塞あり、又は未評価）



収縮期 135 以下
拡張期 85 以下

○収縮期血圧が 120 以下、拡張期血圧が 80 未満での脳心血管病の累積死亡率が最も低く、高齢者でも 120 以下 / 80 未満がリスクが少ないということが明らかになっています。（久山町研究から）そのため、脳心血管病を減らそうと、今までより低い目標値が決められました。

○目標値は個人の病態によって異なるので、主治医と相談の上、目標値をきめて、それ以下の血圧にしておくことが大事です。

○治療しているのに血圧を毎日測定していない方は、ぜひ測定し主治医にみてもらいましょう。

○治療してない人は、普段の血圧を知ることが重要です。血圧を測定（朝、晩）し、高い場合は病院を受診しましょう。受診とともに減塩や、肥満の改善をしてみましょう。

町民センター図書コーナー
「ゆめぼけっと」から図書のご案内

図書コーナー『ゆめぼけっと』利用時間
①～⑤ 午前9時～午後9時 ⑥⑦⑧ 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。☎ 公民館 ☎ (48) 5599

マジカルグランマ

作：柚木麻子



主人公の正子は結婚を機に引退した元女優。月日は流れ、今では夫とは別居状態。夫と離婚するため、75歳を目前に女優復帰しようと奮闘する。最初は上手くいかないものの、やがて知人の助言が功を奏し、大ブレイクする。ところが、今度は思わぬ災難に襲われる。

平場の月

作：朝倉かすみ

主人公はともに50歳の男女。中学の頃、同級生同士だった青砥と須藤は偶然、病院で再開する。ともに離婚を経験し、同じ様な過去を抱えていた2人は、「互助会」と称して定期的に飲みに出かけ、徐々に仲を深めていくが、やがて二人には試練が訪れる…。



☆新着本

Table with 2 columns: 題名, 著者. Rows include 'カフーを待ちわびて' by 原田マハ, 'むらさきのスカート' by 今村夏子, '五つ数えれば三日月' by 李琴峰, 'ラッコの家' by 古川真人.

歩く県道「美女峠道普請」行われる(間方地区) 文・写真 菅家壽一さん(間方)



10月1日、餅ヶ沢付近のぬかるんだ箇所の道普請が行われました。只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、銀山街道（会津若松～銀山峠～石神峠～美女峠～吉尾峠～只見町）が主要道路でした。間方と野尻は、美女峠を通過して仕事や生活の交流も盛んでした。県では、この銀山街道を「歩く県道」として整備しているもので、今年で7年目になります。会津若松建設事務所の担当課長をはじめ行政関係者の方々、現場指導の田賀先生、銀山街道を活用して地域を元気にする会及び間方地区からは、美女峠の里まがたの会長、副会長（区長）と総勢20名が参加して行われました。今回は、側溝が埋まり排水が機能しないことから路体がぬかるんでいる区間を、快適に歩くことができるよう、丸太を使用した流速を抑える工法で側溝を整備しました。暑い日で大変な作業でしたが、参加者の皆さんは、田賀先生の指導の下、大粒の汗をかきながら、泥まみれになって作業に取り組んでいました。完成後は、現地にマッチした芸術的とも言える道となり、美しい景観となりました。

三島小学校「田んぼの学校」脱穀作業 文・写真 小島純さん(宮下)

三島小学校と宮下地区のびおたんクラブとの交流事業である田んぼの学校の脱穀作業が10月17日、宮下活性化センターで行われました。3年生から6年生までの児童が近藤勇彦区長をはじめ、びおたんクラブの役員の方々の指導により、脱穀作業を実施しました。児童たちは、足踏み式の脱穀機や千刃こぎなど昔ながらの道具を使って慣れた手つきで脱穀を行いました。脱穀されたお米は11月開催される「秋の味覚祭」で提供される予定です。



秋晴れの下、そばの刈り取り 文・写真 小島純さん(宮下)



みやした蕎麦と豆腐の会（会長：佐久間宗一）では、宮下・荒屋敷地区の「そばの花でいっぱい」の景観づくり運動の応援団の協力と宮下地区の後援を得て、地区内2ヶ所にあるそば畑で刈り取り作業を行いました。地区の美観に関心のある方など約20人が参加しました。秋晴れのさわやかな天候の下、気持ちよい汗を流しながら作業を終えました。その後、蕎麦と豆腐の会から手打ちそばが振る舞われ、美味しいそばを食べながら疲れを癒しました。11月に収穫祭を実施予定です。

広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

役場 特命担当課 ☎ (48) 5232

若松県は明治二年（一八六九）旧会津藩領に設置された県で、明治九年（一八七六）に福島県と合併するまで、わずか七年間ほど存在していた県です。桑原村名主の河越家に遺された古文書群には明治七年の若松県管内職員表、その地勢などを示した略表があります。職員表を見ると権令、参事以下庶務課・聴訟課・租税課・出納課の四つの課、その課ごとにある各係が行政を担っていたことがわかります。その表によれば本庁だけでなく、津川支庁・田島支庁、東京出張所・小荒井出張所・猪苗代出張所・西方出張所といった出先機関の存在が確認されます。

西方出張所はその名の示すとおり西方村にあり、職員表には少属 宮本行靖、十四等出仕 石原敏功、使部 島田貞三と、明治初期の官職名とともに3人の名が記されています。西方出張所とはどのような機関で、どのような職務を担っていたのか、県庁文書に明治七年～明治九年までの西方出張所の日誌が遺されており、その記述からある程度推測することができます。

日誌に頻出するのは本庁から送られた官状や布告・布達（明治初期の法令・行政命令）の文書が届いたというもので、それらに基づいて行政事務を処理し、また同じく官状を本庁に差し出すという文言もよく見られるので、その報告等を行っていたと考えられます。明治七年五月四日には「一 第二大区十小野川原村戸長兼務渡部禎二江申付候事 一 第二大区十小

小野川原村戸長飯塚龍吉依頼職務差免候之事」とあり、他にもいくつかの村の戸長・副戸長について類似の記述があることから、その任命や解任を行っていたことがわかります。また、日本郵便制度創設者の一人である駒通頭・前島密の名により郵便取扱役を任命する旨の県令書が本庁から届けられた際には、西方駅の青木源九郎の外、沼沢・野尻・横田の三駅に通達する役目を担っています。他にも教導職（宗教系の官吏）任命の通達や、県から表彰された篤志家などへの下賜金授与の記述もあることから、国の官省や県本庁の代行的職務を担っていたようです。

日誌からは行政事務的なものだけでなく、明治六年の太政官布告によって定められた八つの祝祭日に郷社で遷卒を行ったり、休んだりしたことも読み取れます。

その他特徴的なものとして、西方にあった警察所の業務と考えられるものも日誌に書かれています。職氏名とともに誰々を探索・捕縛・護送した、村を巡回したなどの記述が多くあります。職名は若松県では過渡期にあたっていたのか、当初は捕亡と書かれていた職が、明治八年四月三十日を境に遷卒となり、十一月四日以降は巡査と表記されるようになります。彼らのほとんどが村外の出身者と考えられますが、いわゆる現地採用的なものもあったのか、間方村の二瓶諒一郎氏が遷卒下使を申し付けられていま

す。なお、西方出張所が村のどこに設置されたかは同時代の資料では確認できていません。しかし、文久元年（一八六一）に生まれ、桐の殖産で活躍した小松中正氏の述懐に「明治六年には、西方村西隆寺へ若松県出張所開設」とあり、また、現代まで伝わる口承もあることから、西隆寺にあったという説が有力です。

（三島町史編さん室）

明治七年～九年の祝祭日

祝祭日	名 称
1月3日	元 始 祭
1月5日	新 年 宴 会
1月30日	孝 明 天 皇 祭
2月11日	紀 元 節
4月3日	神 武 天 皇 祭
9月17日	神 嘗 祭
11月3日	天 長 節
11月23日	新 嘗 祭

明治6年太政官布告「年中祭日祝日ノ休暇日ヲ定ム」より西方出張所日誌には上記祝祭日について全て記述あり

ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご連絡ください。
☎ (52) 2165

県立宮下病院から

愛ばんしょ外来のお知らせ

「みしま健康ポイント」の対象です！
カードをご持参ください。



宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」（在宅療養生活支援外来）を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

上記を目的に看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。
※費用は無料、予約不要です。どなたでも参加できますのでお気軽にお越しください。

月 日	内 容	講 師
11月7日(木)	・相談コーナー ・健康教室「正しい手洗いとうがい方法」	看 護 師
11月14日(木)	・相談コーナー ・健康教室「食中毒について」	栄 養 士
11月21日(木)	・相談コーナー ・健康教室「正しい手洗いとうがい方法」	看 護 師
11月26日(火)	・住民交流事業「赤ベコ絵付け体験」	清柳苑職員
11月28日(木)	・相談コーナー ・健康教室「食中毒について」	栄 養 士

○時 間 相談コーナー：①午前9時～正午 ②午後1～午後4時 健康教室：午前10時30分～午前11時
住民交流事業：午前10時～午前11時30分

○会 場 宮下病院 外来待合室 ☎宮下病院 ☎(52) 2321

宮下病院感染対策室から

ーインフルエンザ感染症の予防ー

感染対策室 佐藤 由実

毎年冬になるとインフルエンザが流行しますね。インフルエンザにかかっても、軽症で回復する人もいますが、なかには高熱や関節の痛みなどを伴い、さらには肺炎や脳症を併発して重症化してしまう人もいます。

インフルエンザには2つの感染経路があります。1つは、感染者の「咳」や「くしゃみ」などの飛沫と一緒にウイルスが放出し、それを吸い込むことで感染する飛沫感染。もう1つは、感染者のウイルスの入った「くしゃみ」や「つば」が付いた物に触れることで感染する接触感染です。

では、どのように感染を予防したらよいのでしょうか？5つのポイントをあげてみました。

- ①正しい手洗い
手洗いにはせっけんを使い、手についたウイルスを洗い流しましょう。
- ②普段の健康管理
十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。
- ③予防接種を受ける
ワクチン接種は発病の可能性を減らすことができ、重症化を予防することが期待できます。
- ④適度な湿度を保つ
空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。50～60%の湿度を保つことも効果的です。
- ⑤人混みへの外出を避ける
流行時は人混みを避けましょう。外出時はマスクの着用をおすすめします。
※インフルエンザの感染を広げないために、「かからない」「うつさない」対策を実施しましょう。感染についてお困りのときは、毎週木曜日に開催している「愛ばんしょ外来」でも相談できますので、お気軽にご相談ください。



会津坂下警察署からのお知らせ

児童虐待の早期発見にご協力を！

児童虐待とは、保護者等が監護する子どもに対し、次の行為をすることをいいます。

身体的虐待

殴る・蹴る・投げ落とす・激しく揺さぶる・煙草の火を押し付ける・熱湯をかけるなど

性的虐待

性的暴力・性的行為を強要する・児童ポルノの被写体にするなど

怠慢・拒否（ネグレクト）

食事を与えない・ひどく不潔にする、家に閉じ込める・自動車の中に放置するなど

心理的虐待

言葉による脅し・無視・子どもの目の前で家族などに暴力をふるうなど



発見した場合は、すぐに警察や児童相談所に通報を！

街頭犯罪発生件数（9月30日現在）

区分	管内	三島町
空き巣	1	
事務所荒し	5	
自販機ねらい	5	
車上ねらい	1	1
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	13	1
その他刑法犯	58	7
全刑法犯	71	8

○県内では、侵入盗事件が増加しています。当署でも昨年比で6件増加しています。在宅時でも戸締りをしてください。

その他刑法犯等には、暴行・傷害・万引き・詐欺・器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、平成31年1月1日からの累計数となっています。

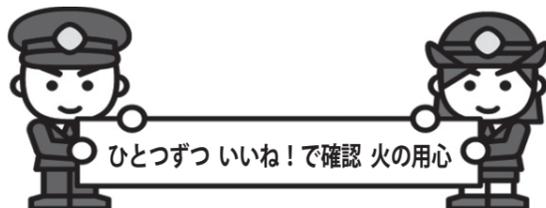


消防署からのお知らせ

令和元年

秋季全国火災予防運動

期間：11月9日～11月15日



ひとつずついいね！で確認 火の用心

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント
- 3つの習慣・4つの対策 -

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

令和元年秋季全国火災予防運動に先立ち、みしまテレビでは10月25日から住宅用火災警報器の設置交換促進を目的としたPR動画が放映されています。

地元の中学生や小学生、保育所、消防団の皆さんにご出演いただき、「設置しよう住警器、交換しよう住警器」を合言葉に住警器について、説明しています。ぜひ、ご覧ください。

会津坂下消防署 三島出張所

一火事・救急・救助はー 電話 (52) 3032
119番まで FAX (52) 3033

環境研だより 第16回

「上ノ原団地内覧会とエネルギーの見える化」



しぶしぶくん

三島町のみなさま、こんにちは。

町営住宅上ノ原団地の内覧会が9月26日に行われましたので、お邪魔してきました。

上ノ原団地は福島県の移住促進仮設住宅事業により、東日本大震災の際に仮設住宅として利用されていた建物から再利用可能な木材や設備を譲り受け、建築されました。

平成30年度に3棟6戸がすでに整備されており、今回は新たに整備された3棟6戸の建物の内覧会でした。

今回新しく整備された上ノ原団地の建物も、実は国立環境研究所の研究にご協力いただいているもののひとつです。建物の中には電力計測機器が設置されており、この機器によって住んでいる人がどのくらいの電気を使用しているのかが計測できるようになっています。

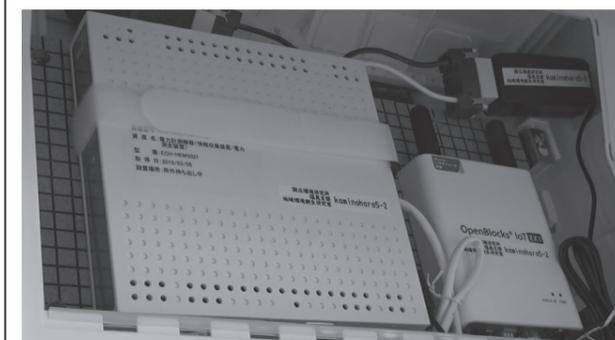
計測したデータを取得・解析し、時間や季節ごとにどの程度、変動するかなどの消費傾向を分析することで、将来的な町全体のエネルギー計画の検討に活用する予定です。

また、こうした各世帯の電力消費量を把握することで、地域の特徴に合わせてどのようなエネルギーを供給するしくみを作ればよいのかについての調査研究に役立たせていただいております。



内覧会が行われた上ノ原団地の住宅

このような電力計測機器は、単身者向け町営住宅として建築された中乙田団地にも導入されています。



上ノ原団地の住宅内に設置されている電力計測機器。この機械によって電力消費量が計測されている

中乙田団地では、研究協力への同意をいただいた入居者の方に「くらしアシストシステム」というツールを利用していただいています。このツールを使うことで、インターネット上から自宅の電力消費量や地域のエネルギー情報などを見ることができ、また町から発信されているホームページの情報や町の地図上から地域の情報を得ることもできます。

普段ご自宅でのどの程度エネルギーを使っているのか、みなさんの中にも気になる方が多いかと思えます。くらしアシストシステムでは、分電盤の系統ごとに1時間ごとの電力消費量を見ることができ、例えばリビングやエアコンでどれくらい電気が使われているのかが把握できるようになっています。これにより、自分がどういった用途で電気を多く使っているかが分かるので、省エネを通じた環境にやさしい生活を考えるヒントにいただければと思います。

今回は10月26日に開催された第3回出前講座の内容について紹介いたします。

<筆者紹介>

常盤 達彦（ときわ たつひこ）

気温が低くなって寒い日が多くなってきました。そろそろ暖房設備を揃えなくては、と考えているのですが、これを機会に省エネや環境のことを考えて、自分の生活に合ったものを選びたいと思います。



国立環境研究所福島支部
地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

**本名光子さんが
人権擁護委員に委嘱されました**

法務局が委嘱する人権擁護委員は、皆さんからの相談を受け、人権侵害の救済のお手伝いや人権についての啓発活動を行います。当町では10月1日付で、新たに本名光子さんが法務大臣より委嘱を受けました。任期は3年間です。



本名光子さん(西方)

第31回 ふくしま駅伝 故郷のたすきに想いをのせ、世代を超えてつなぐ希望。

11月17日(日) 三島・金山・昭和・湯川
午前7時40分スタート 桜枝岐・川内・葛尾
白河陸上競技場→福島県庁前 7町村合同チーム
16区間 94.8km 「希望ふくしま」
希望を胸に精いっぱい走る選手へご声援をお願いします



- 登録選手
小松 昭 (三島町役場)
北館 亮 (三島町役場)
小松凌大 (会津高1年)
鈴木啓生 (三島中3年)
五十嵐望 (三島中2年)

Information

事業主の皆さん、労働保険の加入手続はお済ですか。

11月は「労働保険適用促進強化期間」です。

正社員、パート、アルバイトなど、雇用形態にかかわらず、一人でも労働者を雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入する義務があります。

詳しくは、福島労働局総務部労働保険徴収室(☎024-536-4607)又は最寄りの労働基準監督署、公共職業安定所(ハローワーク)へご相談ください。

自衛隊高等工科学校生徒募集

募集種目	資格	受付期間	試験期日	将来の展望
推薦	男子中卒(見込み含む)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる者	11月1日(金)～11月29日(金)	○令和2年1月5日(日)・6日(月) ※いずれか1日を指定します	将来、陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使、運用するとともに国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するため中学校卒業等を対象に採用する制度です。
一般	男子中卒(見込み含む)17歳未満の者	11月1日(金)～令和2年1月6日(月)	○1次試験 令和2年1月18日(土) ○2次試験 令和2年1月31日(金)～2月3日(月)	

応募先・問い合わせ：自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪57-1 ☎0242(27)6724

**東北税理士会 会津若松支部から
「税の無料相談会」のお知らせ**

毎年11月11日から17日は「税を考える週間」です。東北税理士会会津若松支部では、社会貢献活動の一環として、税理士による「税の無料相談会」を開催することとしております。相続税や贈与税、土地や建物の譲渡に係る税、消費税など、その他税に関するご質問・ご相談をお受けいたしますのでお気軽にご利用ください。

※事前予約の必要はありません。

○日時 11月14日(木) 午後1時から午後4時まで
○会場 アピオスペース1階会議室(会津若松市インター西90)

無料調停相談会を開催します

相続・遺産分割・離婚・扶養等家庭内の問題・多重債務・土地・建物の紛争・交通事故による損害賠償問題など、困っていることがありますしたらお気軽にご相談ください。相談会では裁判所で実際に調停に携わっている調停委員が相談にあたります。

※相談内容が外部にもれることはありません。

○日時 11月27日(水) 午前9時から午後6時まで
○会場 会津若松市文化センター
○費用 無料
○主催 会津若松調停協会

☎福島地方裁判所 会津若松支部 ☎0242(26)5725

社会福祉協議会より

社会福祉協議会よりサロンのご案内

- ▼ひまわりサロン 11月8日(金)10時～ 町民センター
- ▼大登サロン 11月12日(火)13時30分～ 大登生活改善センター
- ▼滝谷和楽塾 11月15日(金)10時～ 滝谷集会所
- ▼川井友愛サロン 11月18日(月)10時～ 川井集会所
- ▼松原はつらつクラブ 11月21日(木)10時～ 松原集会所
- ▼間方いきいきクラブ 11月22日(金)10時～ 間方集会所
- ▼高清水・小山いきいきサロン 11月22日(金)10時～ 高清水集会所
- ▼浅岐あつたかサロン 11月25日(月)10時～ 浅岐集会所
- ▼大石田友遊サロン 11月29日(金)10時～ 大石田生活改善センター
- ▼川井友愛サロン 12月2日(月)10時～ 川井集会所
- ▼サロンないり 12月6日(金)10時～ 名入集会所
- ▼ひまわりサロン 12月6日(金)10時～ 町民センター

心配ごと相談所のご案内

12月4日(水)9時30分～11時30分
福寿草

☎社会福祉協議会 ☎(52)3344

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

長谷川 佳男様(川井)
栗城 吉也様(宮下)

お悔み申し上げます

長谷川 キイ子(91才・川井)
栗城 吉兵(79才・宮下)

※掲載を希望される方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

☎特命担当課 ☎(48)5232

【納期限 12月2日】

- ▼国民健康保険税(第4期)
 - ▼介護保険料【普通徴収】(第4期)
 - ▼後期高齢者保険料【普通徴収】(第4期)
- ☎町民課町民係 ☎(48)5555
忘れずにお納めください

町の人口と世帯

10月1日現在

人口	1,605	-9	出生	0
男	791	-2	死亡	4
女	814	-7	転入	1
世帯	761	-3	転出	6

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

「撮」っておきのみしま町

フォトコンテスト特別賞受賞作品



「美しい時間」
松木リツ子さん(郡山市)



「青涼の朝」
中込隆さん(福島市)



「お昼寝の時間(あずき)」
大竹夏奈さん(宮下)



「三坂山頂より御来光」
田上敏明さん(中平)



「只見線に手を振ろう条例」
五十嵐義幸さん(大登)

第9回「撮」っておきのみしま町フォトコンテスト特別賞の受賞作品が決定しました。来場者500人(1人3票以内)の投票により、上記の5作品が選ばれました。たくさんのご投票をいただき、ありがとうございます。

交流センター山びこ
☎(52) 2165

町長日記 ～「ポスト成長時代の社会は」～

10月9日、ノーベル化学賞を旭化成の吉野彰さんが受賞したというニュースが報道されていました。現在のリチウムイオン電池の原型となる電池を考案し、産業の発展に貢献したことが評価されたことが受賞理由でありました。

日本人が、ノーベル賞を受賞したという嬉しさのみで、受賞の理由はさっぱり理解することができなく、ただパソコンや掃除機等がリチウムイオン電池のおかげで電源コードが取り外され、カメラや携帯ゲーム機等は電池交換の煩わしさから解放されたという説明がされていたことは理解できませんでした。吉野さんは「携帯電話を持つことに抵抗があり、持ったのは最近である」という発言で会場を沸かせていました。

吉野さんの発言で特に興味を持ったのは「発電によるCO2排出問題を解決するには再生可能エネルギーで発電する社会システムにしていく必要がある」、「それらの発電量の変動を吸収して安定供給するための蓄電システムが必要である」と発言されていました。

今後の吉野さんの研究成果に期待し、成長社会という視点のみではなく、成熟社会の視点である、福祉・環境・自然という言葉を中心にワードとして、循環型社会を形成して行くように時代が迫られているのではないかと考えています。

三島町長 矢澤 源成